



富士山

第285号

千葉身障

1月1日発行

SSKR

千葉市身障者福祉会
発行 広報委員会
責任者 飛嶋 信行

明けましておめでとう
ございます。

千葉市身体障害者福祉
会の皆様におかれまして
は、輝かしい新年を健やか
にお迎えのこととお慶び
申し上げます。

皆様には、日頃より、千
葉市の障害者福祉の充実・
向上のため、各分野におい
て積極的に活動を展開さ
れ、ご尽力いただいております
こと、心から敬意と感
謝の意を表します。
さて、本市は昨年、政令



新年のご挨拶

千葉市長 神谷 俊一

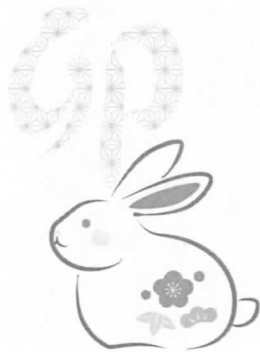
指定都市移行30周年の節
目の年を迎えましたが、新
型コロナウイルス感染症
拡大が長期化する中、感染
拡大防止対策との両立を
図りながら様々なイベン
トが開催され、本来の社会
経済活動の姿を少しずつ
取り戻す年となりました。
千葉市身体障害者スポー
ツ大会を3年ぶりに開催
し、また、4年ぶりに開催
された全国障害者スポー
ツ大会「いちご一会とちぎ
大会」に本市代表選手団を
派遣することもでき、日頃
の練習の成果を存分に発
揮していただきました。貴
会をはじめ、関係者の皆様
のご尽力に心より感謝を
申し上げます。

本年4月からは「千葉市

基本計画」がスタートしま
す。目指すべき10年後の本
市の姿を「みんなが輝く
都市と自然が織りなす千
葉市」とし、障害分野では、
「障害のある人もない人
も、自分らしく生活できる
共生社会を創る」ことを目
指して、障害のある方の社
会参加の促進や、障害のあ
る子どもとその家族への
支援の充実など、社会のバ
リアフリー化を推進して
まいりますので、一層のお
力添えを賜りますようお
願い申し上げます。

結びに、貴会のますます
のご発展と、会員皆様方
のご健勝、ご多幸を祈念し
て、新年のご挨拶といたし
ます。

令和5年 元旦



新年のご挨拶

千葉市身体障害者福祉会 会長 高山 功一

会員、ご家族の皆様には、穏やかな新春をお迎えになられたことと心よりお祝い申し上げます。また、図らずも体調を崩されている方は、一日も早く回復されることを祈念するばかりです。

さて昨年、式典の規模等は縮小されたものの、全国障害者スポーツ大会が栃木県で開催されました。台風やコロナ禍で中止や延期を余儀なくされた茨城大会、鹿児島大会、三重大会。4年ぶりの栃木大会では「いちご一会」の愛称どおり、久しぶりに集ったアスリートたちは、その出会いに喜びをかみしめました。しかしながら、依然として会議や行事は書面やオンライン形式が続いています。

千葉市では当会が推薦した永井政枝理事が日身連会長表彰を受賞。11月にハーモニープラザで対面開催された市社協会長表彰式では、飛嶋信行理事(広報委員長)が会長表彰を受賞されました。

当会主催行事に目を向けると、新年福祉大会、重度障害者日帰り慰安旅行が3年連続中止となったものの、第57回体育祭は会期を6月から11月に変更、競技数や時間を減らし開催しました。参加者が再会を笑顔で喜ぶ姿を見て、改めて対面での行事開催の大切さを痛感しました。社会参加や福祉活動に対し、興味はあるものもの、もう一步を踏み出せないという皆さん。『今年は卯年です』ウサギにあやかっ、まずは『ピョン』と跳んでみませんか。

新年おめでとうございます

顧問

三 瓶 輝 枝

会長

高 山 功 一

副会長

小 嶋 勇 明

小 倉 春 夫

平 本 広 志

総務委員長

高 山 功 一

総務委員長

平 本 広 志

財務委員長

小 倉 春 夫

体育委員長

小 嶋 勇 明

旅行委員長

砂 原 時 男

広報委員長

飛 嶋 信 行

〈会計監事〉

佐久間 恒夫
田 丸 桂子

〈理事〉

石川 栄子

◎花見川区

◎稲毛区

江口 ユミ子
木村 山訓

◎中央区

卯田 孝子

◎若葉区

宇山 和男

◎緑区

高田 有利

◎美浜区

宮武 陽子

◎中央区

坂尾 幸子

◎中央区

高橋 春雄

◎中央区

〈評議員〉

熊野 裕

◎稲毛区

◎中央区

◎若葉区

◎緑区

◎美浜区

◎中央区

◎若葉区

◎緑区

◎美浜区

◎中央区

◎若葉区

◎緑区

◎美浜区

◎中央区

◎若葉区

◎緑区

◎美浜区

◎中央区



◇ 福祉会関連の行事实績と予定 ◇

福祉会会員の皆様、あけましておめでとうございます、本年も皆様へ福祉会の活動並びに関連行事、情報等発信し、少しでも皆様のお力になればと思います。

コロナウイルスの感染がまたも拡大し始めて来ていますが、継続して感染予防対策を行いながら、活動していきましょう。

以下にこれまでの活動実績、並びに活動予定を記載します。

〇11月	11月 6日 (日)	福祉会体育祭・・・開催済
	11月 7日 (月)	福祉講話 (源小学校)・・・開催済
	11月12日 (土)	福祉会月例理事会・・・開催済
〇12月	12月 3日 (土)	千葉市障害者福祉大会・・・開催済
	12月 6日 (火)	福祉講話 (高洲第3小学校)・・・開催済
	12月11日 (日)	年末評議員会・・・開催済
〇1月	1月14日 (土)	福祉会月例理事会・・・開催予定
〇2月	2月11日 (土)	福祉会月例理事会・・・開催予定

(広報委員会)

第57回 体育祭 開催

福祉会体育祭が2019年5月以来、3年ぶりに2022年11月6日(日)に療育センターにて開催されました。コロナ禍での開催とのこと、何度も延期、中止を繰り返しながらも、ついに開催にこぎつけました。

プログラムに関しても、今年は昼食無しの午前中でのみの開催となりました。(お帰りの際、皆さんにお弁当を持ち帰って貰い、帰宅後おいしく頂いてもらうことにしました)

当日は朝から気持ちの良い晴天の下、会員、家族計128名が参加し、コロナ感染拡大防止の為、アルコール除菌、ビニール手袋着用してもらい、定刻の10時に開催。

小倉副会長の開会の言葉の後、高山会長による主催者挨拶に続き、ご多忙中にもかかわらず、千葉市障害者自立支援課課長、大坪敬史様、千葉市視覚障害者協会常任理事、高橋恵子様、千葉市療育センターふれあいの家所長、高橋 忍様、美浜区民生委員、平山服子様、津島紀美子様、馬越照美様をお迎えし、お祝いの言葉と暖かい励ましを頂きました。

体育委員長による競技場の注意があり、準備体操で体をほぐし、いよいよ競技が開始。



午前中でのみの開催とあって、人気のある競技に厳選された種目を皆さん夢中になって楽しみました。競技種目は「輪投げ」「リング引き」「太公望」「パン喰い(取り競争)」と、どの種目も参加された皆さんは競技に熱が入っていました。

今年は県立幕張総合高等学校より平野香先生、梁瀬康介さん、門原沙耶さん、木谷悠菜さん、藤原柚輝さん、築田望来さんがボランティアとして参加して下さいました。

来年以降も引き続き、ご協力頂きます様よろしくお願い申し上げます。

最後に参加いただいた皆様に厚くお礼を申し上げます
(体育委員会)

第22回 全国障害者スポーツ大会 開催

第22回 全国障害者スポーツ大会。いちご一会とちぎ大会が去る、10月27日から11月1日の期間開催されました。当会からは林四郎選手(一般卓球)大橋ひで子選手(水泳)片山学選手(アーチェリー)の3名が出場いたしました。片山学選手が見事2位を勝ち取り銀メダルを受賞しました。

千葉市全体での結果は金メダル7個、銀メダル8個、銅メダル6個、合計21個と大健闘されました。選手の皆様、ご苦労様でした。

また、来年度の開催に向けて、選手の皆さん頑張ってください。

(体育委員会)

令和4年度 年末評議委員会 開催

令和4年度の年末評議委員会は、12月11日(日)9時より、ハーモニープラザ2階蘇我コミ分館講習室3にて開催されました。

昨年同様、コロナウイルス感染防止の為、懇親会を中止し、午前中までの縮小開催とし、と行われました。

砂原理事の司会進行の下、評議委員会が開催されました。

続いて高山会長より参加役員の皆様に1年間の労苦に対して労いの言葉と、コロナまん延も落ち着きを取り戻しつつあるこの状況で、可能な限り行事を開催していきたい、そのために会員の皆様にも協力をお願いしたとの言葉がありました。

次に議長に飛嶋理事を指名、挨拶の後、評議員総数33名中、出席者20名、委任状13名で評議員会の成立を報告。

次に、役員の退任について高山会長より報告。続き高山会長

より令和4年度の事業報告、小倉財務より会計報告があり全て承認されました。

また、その他報告で広報誌「千葉身障」の発行回数報告、ガソリン券の廃止に代わる指定口座へのガソリン代振込への変更。表彰者受賞報告に永井政枝理事が日身連会長表彰受賞、飛嶋信行理事が千葉県社会福祉協議会会長賞受賞されその旨が報告されました。

続けて、千葉市身体障害者の会則の内容見直しによる修正案が提案され、こちらも全て承認されました。

質疑応答その他では、佐久間恒夫監事より、この状況下でも、このように活動がされている、そのこと自体とても素晴らしいことで、今後も継続して頑張ってください。と激励のお言葉を頂きました。

最後に小倉副会長の閉会宣言で年末評議委員会は滞りなく終了しました。(広報委員会)

～新入会員のお知らせ～ ☆皆様仲良くしてね☆

氏名	住所	電話番号
平山 絹子	千葉市緑区おゆみ野中央9-1-46	043-300-0387

福祉会は発足七十二周年を迎えました。更に発展するように、会員募集中です。
知り合いの方や、お近くで身体障害者手帳をお持ちの方を地区役員に紹介ください。
(組織委員会)

第24回 千葉市障害者福祉大会開催

第24回「千葉市障害者福祉大会」は令和4年12月3日(土)10時から「千葉市ハーモニープラザ」3Fハーモニーホールで盛大に開催されました。

オープニングでは高山功一実行委員長の開会宣言、神谷俊一千葉市長の主催者挨拶、森山和博千葉市議会副議長のご来賓挨拶に続き、来賓のご紹介がありました。

次に令和4年度の市政功労者受賞者として社会福祉法人千葉重症児・者を守る会さんが紹介されました。

体験作文・ポスター最優秀者表彰では神谷市長が表彰状と記念品を表彰者の皆様に手渡されました。体験作文の発表では涙が出るほど暖かな内容に心を打たれました。

続いて、第22回全国障害者スポーツ大会、千葉市代表選手の紹介がされました。

休憩をはさみ、体験・実践発表では、聴覚障害者協会 坂井和彦さんによる「手話のある世界」と題して体験を発表されました。

また講演会では、高校生から芸能活動をされ、現在は俳優、コメンテーターとして活動を広げているサヘルローズさんによる『出会いこそ、生きる力』と題して講演をされました。

最後に聴覚障害者協会会長の国本雄一郎さんの閉会宣言で閉会となりました。

また、各11の千葉市障害者団体の紹介の紹介揭示にて、各団体とも活発な活動を十分にアピールされていました。

早朝より準備の関係各位・当会役員の皆様にお礼申し上げます。
(広報委員会)

あなたの記事、作品も掲載しませんか？

広報委員会では、会員皆様から掲載記事を募集します。「ぜひ千葉身障に掲載したい！」「こんな活動してます！」「みんなに知って貰いたい！」「活動メンバー募集します！」等広い範囲で募集します。

又、活動以外でも個人的な作品、例えば手工芸、習字、写真等々、自分の成果をみんなに知ってもらいたい方など、ほぼジャンルは問いませんので、是非掲載してほしい方がいらつしやったら連絡を下さい。

紙面の都合上、必ず掲載出来るか分かりませんが、「やってみたい！」「という方は広報委員会までお問い合わせ下さい。

インターネットでもご覧になれます

千葉市身体障害者福祉会が発行する本誌「千葉身障」は千葉市のホームページでも閲覧が出来ます。

「千葉市身体障害者福祉会」と検索してもらえると直ぐに閲覧出来ます。是非ご利用下さい。

一・五円玉募金

宮武 陽子様(緑区)
小林 栄子様(美浜区)
土堀 シン様(美浜区)
宇山 和男様(若葉区)
東 茂昭様(若葉区)
明治神社(緑区)
毎回の協力に感謝しお礼を申し上げます。有難うございました。
(財務委員会)小倉

計報

鈴木 平様(美浜区)
令和4年9月(89歳)
ご冥福を心よりお祈り申し上げます。
(財務委員会)小倉

発行人・特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドウーラ祖師谷102号
編集人・千葉市身体障害者福祉会
千葉市中央区千葉寺町1208・2
ハーモニープラザ3階

千葉身障に関するご意見、ご要望、問い合わせは以下にお願いします。

FaxTel: 〇四三ー二〇九ー三三八ー
〇四三ー二〇九ー三三八ー